

第83回全京都統一メーデー宣言

私たちは、本日、「働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう」のスローガンを掲げ、闘う歴史と伝統を受け継ぎ、第83回全京都統一メーデーを開催しました。

すべての働く仲間みなさん、府民みなさん！

未曾有の被害をもたらした3月11日の東日本大震災から1年がたちました。

震災と原発事故は、日本の政治のあり方を根本から問い直しました。

いま、野田政権の下で、いのちと暮らしを守り、大震災からの国民本位の復旧・復興は、たたかいとなっています。暮らしも地域経済の再生にも冷や水をかける消費税増税や社会保障の改悪、TPP参加は、復興をさまたげ、歴史的な大失政になることは火を見るより明らかです。断固阻止するために、力を合わせようではありませんか。

また、福島原発事故は、依然としてその原因も実態も不明で、放射能汚染の被害は広範囲に広がっています。にもかかわらず、野田政権は、即席の判断基準で関電大飯原発をはじめとする原発再稼働を強行しようとしており、国民の不安も、福島の声も踏みにじる暴挙といわねばなりません。私たちは、危険な原発を停止・廃炉すること、原子力から自然再生エネルギーへの抜本的転換を強く求めるものです。

12国民春闘は、これら財界に追随し、国民の苦難を省みない野田政権の暴走と対決し、賃上げ・最賃改善と雇用確保、均等待遇の確立と労働時間の短縮・働くルールの確立を求めて、全力をあげてたたかってきました。

同時に争議では、「整理解雇の四要件」をも踏みにじる不当解雇の撤回を求める日航争議や、国民の年金つぶしの責任を労働者に押し付け不当解雇した政府を相手にたたかう全厚生争議、TPP反対を拒否する一方で職場では組合つぶしをすすめる京都農協に対する争議など、勝利解決をめざすたたかいは、いよいよ正念場です。

すべての働く仲間みなさん、府民みなさん！

私たちのたたかいを通じて、原発ゼロの社会をめざす声は世論となり、消費税増税反対の声も多数になりつつあります。いまこそ、野田政権の暴走にストップをかける世論と運動を強めましょう。

賃金底上げと地域循環の経済づくり、均等待遇と人間らしい労働を実現し、労働者・国民本位の経済を取り戻しましょう。

憲法改悪を許さず、憲法9条を守る世論を広げましょう。

米軍普天間基地撤去・辺野古新基地建設反対の声を高め、沖縄に連帯したたたかいをすすめましょう。

すべての労働者・府民の力を総結集することを呼びかけます。

働くものの団結、万歳！

第83回メーデー万歳！

2012年5月1日

第83回全京都統一メーデー大会